

# JST 理事長 記者説明会

令和元年 10月 17日



科学技術振興機構

# 輝く女性研究者賞 (ジュン アシダ賞)

令和元年10月17日



科学技術振興機構

# 概要

## 趣旨

女性研究者の活躍を推進する取り組みの一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰。なお、芦田基金(※)より、副賞100万円提供のご協力をいただきます。

※ 1994年に、デザイナーの故 芦田 淳 氏が、青少年育成を目的として設立した基金

## 対象者(自薦／他薦ともに可)

### ・【輝く女性研究者賞】

:女性研究者 1名

原則40歳未満

(ただしライフイベントによる研究活動休止期間を勘案)

### ・【輝く女性研究者活躍推進賞】

:機関 1機関

女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関のモデルとなる取り組みを行っている機関

## 選考委員



鳥居 啓子(委员长)  
テキサス大学オースティン校  
Johnson and Johnson Centennial 冠教授  
ハーワードヒューズ  
医学研究所 (HHMI) 正研究員



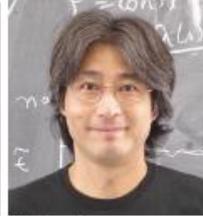
浅川 智恵子  
IBMワトソン研究所  
IBMフェロー



阿部 玲子  
オリエントタルコンサルタンツ  
グローバルインド現地法人  
取締役会長



北川 宏  
京都大学  
大学院理学研究科  
教授



村山 斉  
米国カリフォルニア大学  
バークレー校 教授  
東京大学国際高等研究所  
カブリ数物連携宇宙研究機構  
(IPMU)  
教授・主任研究者



室伏 きみ子  
お茶の水女子大学学長



柳沢 正史  
筑波大学国際統合  
創薬科学研究機構  
機構長

# 特徴

## 輝く女性研究者賞(女性研究者)

- ✓ 原則40歳未満の若手女性研究者を対象とする(ただし、ライフイベントによる研究活動休止期間を勘案)
- ✓ 研究の実績、成果のほか、研究以外に社会に好影響を与えた活動にも焦点を当てる
- ✓ 科学技術に関連していれば分野は問わない

## 輝く女性研究者活躍推進賞(機関)

- ✓ 女性研究者の活躍を推進する機関を表彰する

# 選考の観点

## 輝く女性研究者賞(女性研究者)

- 研究の実績
- 研究における独創性・チャレンジ姿勢、将来性や課題解決への貢献
- 研究以外の社会貢献等(人材育成・環境整備など)
- 国際的な視野(海外での経験や海外研究機関との連携など)

## 輝く女性研究者活躍推進賞(機関)

- 他機関のモデルとなり得るか
- 他機関との連携など、広がり
- 取り組みの効果・成果

# 応募状況及び受賞者決定

## 応募状況

応募期間 4月1日～6月30日

応募状況 輝く女性研究者賞(女性研究者) 104件  
輝く女性研究者活躍推進賞(機関) 12件

## 選考・受賞者決定

・ 選考 7月上旬～8月中旬

・ 受賞者決定

輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞) 1名

輝く女性研究者活躍推進賞(ジュン アシダ賞) 1機関

輝く女性研究者賞(科学技術振興機構理事長賞) 1名

・ 受賞者・受賞機関発表

【プレスリリース】2019年10月17日

第1回輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)受賞者の決定と表彰式開催について

# 第1回輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞) 受賞者

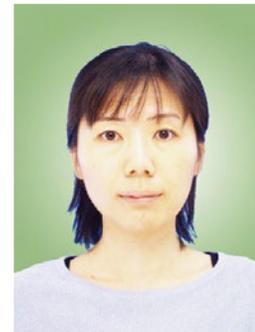
年齢: 2019/04/01時点

## ■ 受賞者及び表彰内容

戎家 美紀(38才)

欧州分子生物学研究所 バルセロナ(European Molecular Biology Laboratory Barcelona) グループリーダー

JSTから賞状及び賞牌を授与、副賞として芦田基金から賞金100万円を授与



## ■ 受賞理由

- 自発的な細胞分化やパターン形成を人工的に「作る」研究に取り組み、合成生物学の分野においてパイオニアとして成果を挙げてきた。また近年は、生物学の本質的な問題である「生物種により時間スケールが異なるしくみ」の解明に取り組み、世界の注目を集めている。
- 研究以外の社会貢献においても、ヨーロッパと日本の研究者の交流促進を図る活動など、海外に拠点を構える日本人研究者としての観点も踏まえながら関係分野・環境整備へ貢献している。

## ■ プロフィール

- 専門分野 構成的発生生物学
- 主な経歴  
2018年 - 現在 EMBL Barcelona グループリーダー  
2013年 - 2019年 独立行政法人理化学研究所 ユニットリーダー  
2013年 - 2016年 JST さきがけ研究者(兼任)  
2009年 - 2013年 京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット グループリーダー
- 主な受賞歴  
2013年 文部科学大臣表彰 若手科学者賞

# 第1回輝く女性研究者活躍推進賞(ジュン アシダ賞) 受賞機関

## ■ 受賞機関及び表彰内容

国立大学法人九州大学(代表者 総長 久保 千春)  
JSTから賞状及び賞牌を授与。

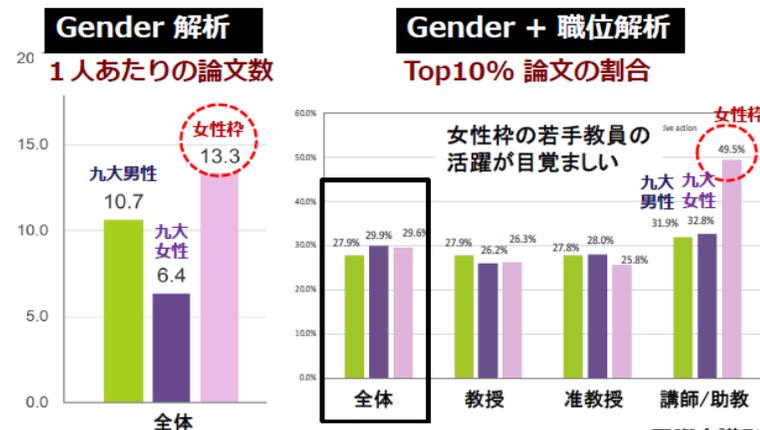


## ■ 受賞理由

- 2009年に他大学に先駆けて「女性枠設定による教員採用・養成システム」を立ち上げ、女性研究者を国際公募により広く募り、透明性の高い二段階審査により優秀な女性人材を発掘・育成するという「九大方式」を構築する他、2017年には配偶者帯同雇用制度を創設した。
- また、女性枠教員の論文業績分析結果により、女性限定公募制度の効果を定量的に検証し、可視化した。この結果、同制度の意義を実証し、女性研究者の研究力に関する無意識のバイアスを是正するとともに、国際会議での発信等により他機関への連携・展開にも取り組んでおり、国内外で注目されている。

## ■ 主な取り組み、成果

- 女性枠設定による教員採用・養成システムを他大学に先駆けて2009年に導入した。
- 女性限定公募による若手女性枠教員の論文業績分析により、同制度の有効性を可視化した(2018年度)。
- 国内初となる配偶者帯同雇用制度を導入し、2018年11月に第1号の実績がある。



WSSF2018国際会議発表データ

男性平均を遥かに超える「女性枠」  
特に若手女性教員のデータが国内外で注目される

# 第1回輝く女性研究者賞(科学技術振興機構理事長賞) 受賞者

年齢: 2019/04/01時点

## ■ 受賞者及び表彰内容

深澤 愛子(39才)

京都大学 高等研究院 物質—細胞統合システム拠点 教授  
JSTから賞状及び賞牌を授与。



## ■ 受賞理由

- 高強度な光照射下でも褪色しない超耐光性蛍光色素の市販化や、大気下でも安定な塗布型有機半導体への応用展開など、機能性有機材料の創製において突出した研究実績及び成果の社会への還元実績を有している。
- また、研究以外の社会貢献においても、各種メディアを通して社会への情報発信に継続的に取り組むなど、化学の分野で男女問わず若手研究者から目標とされるべき活動を実施している。

## ■ プロフィール

- 専門分野 有機典型元素化学、有機材料化学
- 主な経歴 2018年11月 - 現在 京都大学 高等研究院 物質—細胞統合システム拠点 教授  
2013年 8月 - 2018年10月 名古屋大学 大学院理学研究科 物質理学専攻 化学系 准教授  
2007年 4月 - 2013年 7月 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻化学系 助教
- 主な受賞歴 2019年2月 公益社団法人 MSD生命科学財団 Lectureship Award MBLA 2018  
2014年3月 日本化学会進歩賞